



さいじょう 国際交流NEWS

第13号
December 2016

目次

秋のイベント報告 1
アフリカから来訪
今後の予定 2

ハロウィン報告 2

Anna先生からの
お知らせ 2

ベトナムノート： 3

オーストリアの日
本庭園 3

DATES WITH
DIANA 4

国際交流INFO 4



さいじょう国際交流NEWSは
年4回西条市国際交流協会
事務局によって発行されてい
ます。ご質問・ご感想、または
掲載してほしい情報がありまし
たら下記までご連絡ください。

ようこそ！アフリカから西条へ

第59回産業祭 ワールドカフェ

11月12・13日（土・日）、西条農業高校で開催された西条市産業祭に、ワールドカフェを出展しました。

海外のお茶やお菓子の試食や民族衣装の試着、ベトナム揚げ春巻きの販売に加え、今年は「国際交流をすすめる会」とJICA（国際協力機構）の協力により、愛媛大学に留学しているセネガルやモザンビークなど5か国6人のアフリカ人研修生がワークショップを開催してくださいました。普段ふれることの少ないアフリカの文化やリズムカルな曲とダンスに沢山のお客さんも盛り上がりしました。



西条の皆様には心から感謝します。産業祭に参加でき、親切な歓待と案内を受け、特別な経験で本当に楽しんだ。また来年の産業祭に参加したい。どうもありがとうございます！
〈Senzo Ntshakala:スワジランド〉



この経験で、モザンビークについてご存知の日本人が少ないことに気づいた。もっと、モザンビークの観光やビジネスなどに関わる機会について知ってもらいたい。様々な人との出会い、新しい友達もできる素敵な機会でした。〈Celso Fernando:モザンビーク〉

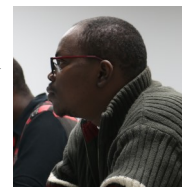
西条を訪ねて、面白かった。とても美しく、親切な市民に溢れている。国籍も文化も様々な人に会え、一緒にエジプトと日本の共通点と相違点について話し合えて、良かった。また、日本の高校に来たのは初めてで、高校生と未来の目標について話し合えたのが楽しかった。〈Omar Abdel Wahab:エジプト〉

この週末は日本での経験の中では最も良い経験だった。生まれて初めて僕の誕生日を祝ってもらい、一緒に踊ったり、西条の皆様にはアフリカの多様な文化も紹介できた。どうもありがとうございます。また近いうちに皆様に再会できれば幸いです。〈Dianouma Demba Sonko:セネガル〉



技術者14人も「うちぬき」視察

12月2日には、JICA四国主催の研修に参加しているアフリカの技術者や行政幹部14人が西条市を訪れ、地下水保全と水源管理、水道施設の維持管理などを学び、うちぬきを視察しました。



クリスマス講座のお知らせ

申込をされた方は、持参物を持ってきましたください。

- ◆日時：12月17日(土)10:00～12:00
- ◆場所：総合福祉センター
- ◆内容：クリスマス飾り作り・歌や文化の紹介
- ◆参加費：1,000円(国際交流協会員500円)
- ◆持参物：はさみ、ボタン2個、
好きな柄の包装紙(あれば)、
タオル、袋(持ち帰り用)



第4回 国際交流カフェのお知らせ

お茶やコーヒーを飲みながら、西条在住の外国人や海外経験者との自由な交流を楽しみませんか？

- ◆日時：29年2月1日(水)18:00～20:00
- ◆場所：産業情報支援センター(SICS)
- ◆参加費：300円(国際交流協会員200円)



中国餃子料理教室のお知らせ

中国人講師による本場の餃子レシピで作ります！

- ◆日時：29年2月18日(土)13:30～17:00
- ◆場所：総合福祉センター 栄養指導室
- ◆定員：30名(先着順)
- ◆参加費：300円
- ◆募集期間：1月23日(月)～2月13日(月)



愛媛AJET海外留学奨学基金

愛媛県内の外国語指導助手(ALT)や国際交流員(CIR)から成るボランティア団体「愛媛AJET」では、県内の短期留学を希望する高校生の支援を行うため、「愛媛AJET海外留学奨学基金」を設立し、今年で3年目を迎えています。これまで、この奨学金を受けた高校生2名がカナダに短期留学しました。滞在期間は限られていましたが、英会話の能力が上達し、異文化をより深く理解できるようになったと話しています。今年も「愛媛AJET」は奨学金プログラムの成功を願い、次の希望者のために20万円を募ろうと努力しています。随時、寄付も募っていますので、高校生の留学支援にご賛同くださる方は西条市役所の国際交流係、国際交流カフェ、国際交流のイベントなどで声をおかけください。少しでもお力添えを頂ければ、ありがたく思います。

◆問合せ：アンナ・タテサル

ehimeajetscholarship@gmail.com

(ダ和訳)

ハロウィンパーティーIN商店街

西条まちづくり協議会と共同主催したハロウィンパーティー2016が、今年はより一層パワーアップして開催されました！10月29日(土)仮装した子供たちは西条の商店街を埋め尽くし、Trick or treat!!とあちらこちらで元気な声を飛び交わせ西条の町を元気に盛り上げていました。

500枚用意したスタンプラリーカードはたった20分で完売し、また、今年初めて行ったパレードでは、猫バスの手作りだしの登場に商店街にきた1000人以上の人々から拍手が沸き、まるで異世界のようでした。商店街に展示した200点以上のポスターやイラストは2歳から大人の方まで応募していただき、アートにあふれる商店街になっていました。エリス(西条英語ボランティアの会)をはじめ、商店街の皆様、いろいろな団体と協力し合い、みんなが笑顔になるハロウィンパーティーになりました。本当にありがとうございました。まだまだ課題はありますが、1つ1つクリアにしてよりよい笑顔あふれるハロウィンになるように頑張っていきたいです。(石)

★イラストコンテスト★

最優秀賞 大町小6年
加藤 みなみさん



手作り猫バスのだし

ベトナムノート：時代の変化とともに、伝統文化価値も変化

戦後1975年からベトナム国は閉鎖され、ソ連などの社会主義国以外、他国との交流は絶たれました。再びベトナムが扉を開いたのは1986年のドイモイ（改革）でした。それから他の国々と外交や経済や文化交流が始まり、今では外国人との触れ合いや海外に出ることは普通になってきました。

その反面、経済発展や異文化との交流の影響で、ベトナム人の伝統的習慣や考え方も変化しました。

消極的な影響として、経済が発展するにつれ、毎日仕事で忙しくなり、人間関係が薄くなりました。インターネットの普及で、家族や友達に会って話すより、スマートフォンに夢中になりつつあります。今の子供たちは勉強以外は携帯ゲームにハマリ、自然と触れあうことが少なくなっています。私が幼い頃に遊んだ伝統的なゲームも知らないようです。また、世帯構造も変わってきました。3世代世帯から核家族化が進み、子供の人数も減ってきました。生活費や教育費などの負担が重くなったからです。また、結婚平均年齢も遅くなり、離婚率も上がっています。特に女性は結婚したら自由がなくなる、経済的に自立できるようになれば、一人でも十分楽しい生活を過ごせるという考え方が増えているようです。

しかし、積極的な変化もたくさんあります。ベトナム人に対してのビザが緩和されたお陰で、海外への留学や旅行が簡単になりました。その国の良い習慣やマナーを帰国しても保って生活する場合も少なくないです。外国からの映画やドラマからも、色々な国の習慣や文化が伝わります。

また、「男尊女卑」の考えに対し、「文明時代にそんな事ではだめだ。男女平等の社会を作ろう」と政府が訴えました。現在、ベトナムの女性達はさらに尊敬され、毎年ベトナム女性の日（10/20）と国際女性の日（3/8）にはお祝いをします。他国との交流なくしてはベトナムの旧慣は変われなかったでしょう。

これからは、伝統と新しい文化の良いところ両方を取り入れなければなりません。最近、旧正月から新暦正月に変えようという声までありました。しかし、ベトナム人にとって、旧正月は昔からの伝統的な文化です。精神的にはとても大切なもので、変わるべからず！

ベトナムのフエ市では、隔年で伝統工芸フェスティバルと国際文化フェスティバルを行っています。こういった方法で伝統的な文化を発展させながら、国内外にその価値と保護の大切さが伝えていくべきだと、私は思います。（レ）

オーストリアの日本庭園

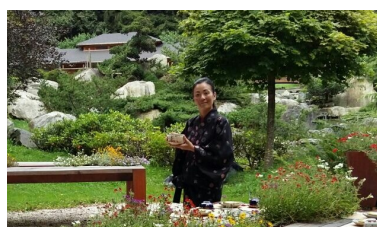
グリュースゴット！わたしは西条市出身の村上友子です。今年でオーストリア在住15年になります。故郷から約10万キロ離れたこの地で、日本文化「盆栽」を職とし日々、色々な国のお客様をおもてなししています。

もともとは、とにかく日本より海外に興味があり世界中を飛び回りました。そんな中、このオーストリア共和国に足をとめることとなります。

私が住み着いたオーストリアの最南に位置するケルンテン州ミルシュタット湖畔セーボーデン市は、もしかしたら西条市によく似ているのかもしれませんが。西条が石鎚山に守られているように、ここも山々に囲まれています。おいしい水があり、おいしい空気があります。そして、ヨーロッパで最大規模の盆栽ミュージアムがあります。来年創立40周年をむかえるミュージアムは、200種類以上3,000鉢ほどの日本盆栽を庭園内に展示しています。私がこのミュージアムに出会ったのは偶然でした。一番最初に目に入ったのが青石の灯籠でした。さっそく館長と話をし、それが西条市から取り寄せたものだとか

かり、不思議な縁を感じたことを覚えています。そして、ここが私の職場となりました。

先日3年ぶりに帰郷しました。町並みは多少変わってもやっぱり帰ってきたなあと感じます。いつまでたっても帰れる故郷があることに感謝です。



「青石が映える庭園」



※平成24年の35周年祭典ではセーボーデン市長より名誉客として西条市長が招待を受けました。

★★★★★★★★★★★★★
★ Dates with Diana ★
★★★★★★★★★★★★★

輪のように 繋がります

昔ながらの桐屋菓舗に入ると、陳列棚にカステラケーキと小籠包のように可愛くくるまれた栗の饅頭が並んでいます。お土産を探しに行ったその店で、お土産だけではなく、新しい友達もを見つけました：桐屋バアバ。

その日から時々桐屋バアバに会いに行き、家族と恋や多文化結婚について話します。アメリカにいる家族にも桐屋バアバの話をします。

11月16日から24日まで、父がやっと西条に来られました。娘がどんなところで、どんな人と触れ合っているのかを知りたがりました。私は西条の同僚や友達を紹介し、西条だけでなく、高松・瀬戸内の島々・松山・広島・宮島・東京と鎌倉まで父を連れて行きました。

小豆島の寒霞溪に行き、綺麗な景色に感動しました。久しぶりの登山で男木島の山の頂上まで歩き、父は汗だくになった記憶と一緒に、島の名前である「男木島」まで覚えられました（日本語ができないため場所の名前は覚えにくいのです）。高松で讃岐うどん、宮島でカキ、広島でお好み焼き、西条でマルトモ水産の新鮮な海鮮丼、美味しいものをいっぱい食べました。

11月21日、父の誕生日に桐屋バアバにも会いに行きました。桐屋バアバも頑張って、知っている限りの英語で父に話してくれました。そこへ突然、西条祭りの先輩が娘さんと現れました。先輩のご家族も古くから桐屋バアバの知り合いだったのです。桐屋バアバを中心にして皆が輪のように繋がっています。

皆で色々な話で盛り上がりましたが、桐屋バアバが昔すごく細かったけれど、年を取ったら、あつという間に体重が年齢と一緒になったという話には、皆、抱腹絶倒しました。日本語ができなくても、父はその仲間に歓迎され、その輪を広げる一人になりました。9日間の短い滞在で父はアメリカへ帰ってしまいましたが、やはり温かい人たちに囲まれた西条がもう恋しくなったようで、父はまた来ると言っています。(ダ)



国際交流 INFO

【丹原町国際交流協会】

第17回国際交流スピーチコンテスト◇観覧自由◇

- ◆ 日時：平成28年12月18日(日)13:00～16:30
- ◆ 場所：西条市丹原公民館 1階ホール
- ◆ 内容
 - ①外国人の日本語スピーチ
 - ②小学生のスピーチ
 - ③英語スピーチ(中学生・高校生の部)
 - ④外国語講座受講生の学習成果発表
(中国語・韓国語の部)

- ◆ 問合せ：丹原町国際交流協会

【西条英語ボランティアの会 (ELIS)】

FUN FUN English (えいご de あそぼ！)

- ◆ 日時：平成29年3月5日(日曜日)14:00-16:00
- ◆ 場所：西条市小松公民館 ◆ 定員：先着80名
- ◆ 受付期間：29年2月3日(金)～2月16日(木)
- ◆ 内容：西条市の小学生が、エリス会員と地域の外国人と一緒に英語を使ったゲームを楽しみながら、英語に親しみ、表現力などを身につけます。
- ◆ 申込先：西条市国際交流協会事務局

【事務局からのお知らせ】

『旅の手帖』にレーさん登場！

1月10日発売予定の月刊『旅の手帖』（交通新聞社）で連載されている、日本で働く外国人へのインタビュー記事「LOVE JAPAN!!」に、国際交流員のレーさんが西条市を紹介した記事が掲載されます。ぜひ、ご覧ください。

編集 後記

西条に来て、四ヶ月が経ち、ハロウィンパーティーや産業祭、料理教室等、国際交流が次々と西条で行われ、楽しい一日が続いています。これからニュースの編集スタッフと一緒に頑張ります。(ダ)

国際交流NEWSスタッフ:

川口佐智(か)
チュオン・ディン・レー(レ)
ダイアナ・マリー・リントン(ダ)
石村美歩(石)
今井まみ子(今)

フルカラーで
読める！

